

報道関係 各位

2021年10月5日
Langsmith 株式会社

ラングスマスの英語論文執筆支援システムが計算機科学分野全体へ対応

Langsmith 株式会社が 2021 年 4 月より提供している英語論文執筆支援システム「Langsmith Editor」(<https://ja.langsmith.co.jp>) は、計算機科学（コンピュータ・サイエンス）分野全体へ対応しました。

Langsmith 株式会社は計算機科学分野において、機械学習・画像処理・自然言語処理といった 3 分野のエンジンを提供してまいりました。

この度、より汎用的な「計算機科学エンジン」の提供を開始しました。

これまで対応できていなかったロボット工学や情報理論などを含む計算機科学分野全体をサポートしており、40 を超える細分領域¹の論文によって、エンジンを学習しています。これにより計算機科学分野全体の英語論文執筆を支援します。

今回のリリースに伴い、Guest プランと Free プランのユーザーが利用できるエンジンを、自然言語処理から、計算機科学へ変更いたします。

計算機科学エンジンは、Guest プランユーザーを含む全てのユーザーが利用可能です。

なお、機械学習・画像処理・自然言語処理に特化したモデルも引き続き、Free プラン登録時の無料トライアル（7 日間）及び、Premium プランにて利用可能です。

今後、ロボット工学や情報理論といった計算機科学の細分領域に特化したエンジンも個別に開発していく予定です。

また、計算機科学分野対応を記念して 2021 年 12 月 31 日までご利用いただける 800 円割引のプロモーションコードを公式 Twitter (https://twitter.com/langsmith_nlp) にて配布いたします。

【Langsmith Editor の概要】

論文執筆は研究者にとって重要な活動です。特に世界に向けて研究を発信する際には、技術やアイデア、発見をわかりやすく、正確に英語で伝える必要があります。この点で、英語を母語としない研究者や学生はハンディキャップを負っています。執筆支援システムの上で英語の文章を書くと、論文に適した言い回しの提案などを受けることができます。

Langsmith Editor では、分野によって好まれる文体や専門用語などが異なることを踏まえ、特定分野へ特化したエンジンを提供しており、医学・化学・生物学・心理学・計算機科学をサポートしております（図: 計算機科学エンジン出力の例）。

¹ 計算機科学の領域分類は <https://arxiv.org/archive/cs> に従う

This paper tries to transmit the recent techniques in computer vision for robotics.

This paper attempts to transfer recent techniques in computer vision to robotics.	typicality
This paper seeks to transfer a recent technique in computer vision to robotics.	
This paper attempts to port recent techniques in computer vision to robotics.	
This paper tries to hand over recent techniques in computer vision to robotics.	
This paper struggles to transfer recent techniques in computer vision to robotics.	

計算機科学エンジンによる言い回し提案の例

4つのプランがあり、それぞれ利用できる機能が異なります。

Freeプランには無料トライアル  が付きます (無料トライアル  の詳細はこちら)。

	Guest	\無料トライアル付き  / Free	\オススメ/ Premium	Enterprise
料金	無料 (会員登録なし)	無料 (会員登録あり) 無料トライアルとは?	1,000円/月 (税込) ~	お問い合わせ
自然な候補推薦・書き換え ②	✔	✔	⊗	✔
続きの文章の提案 ②	✔	✔	⊗	✔
スペルミス検出・訂正候補表示 ②	✔	✔	⊗	✔
対応分野 ②	計算機科学分野の 論文執筆に最適なモデル	計算機科学分野の 論文執筆に最適なモデル ※無料トライアルでは提供中の 全分野のモデルが利用可 	<ul style="list-style-type: none"> 医学 化学 生物学 計算機科学 <ul style="list-style-type: none"> 画像処理 機械学習 自然言語処理 心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 医学 化学 生物学 計算機科学 <ul style="list-style-type: none"> 画像処理 機械学習 自然言語処理 心理学
文書のGoogleDrive保存 ②	—	✔	⊗	✔
用例検索機能 ②	—	✔	⊗	✔
比較機能 ②	—	— ※無料トライアルで利用可 	⊗	✔
高機密性・高セキュリティ ②	—	—	⊗	✔
優先的なパフォーマンス ②	—	— ※無料トライアルで利用可 	⊗	✔
利用者管理 ②	—	—	—	✔
お客様組織に応じた支払い方法 ②	—	—	—	✔

■Langsmith 概要

社名： Langsmith 株式会社

本社： 東京都渋谷区渋谷 3-25-18

メンバー：

代表取締役	後藤 高志	(MLS 取締役 弁護士)
共同創業者	伊藤 拓海	
共同創業者	栗林 樹生	
取締役	森山 雅勝	(MLS 代表取締役社長)

設立： 2018 年 5 月

事業： 自然言語処理、ディープラーニングを使った文章推敲支援人工知能システムの開発

URL： Langsmith Editor <https://langsmith.co.jp/>

サービス紹介 <https://ja.langsmith.co.jp/>

コーポレート <https://corp.langsmith.co.jp/>

Langsmith 株式会社はマシンラーニング・ソリューションズ株式会社 (MLS) の子会社になります。MLS は、トランスコスモス株式会社、株式会社フジ・メディア・ホールディングス傘下の株式会社フジ・スタートアップ・ベンチャーズ、チームラボ株式会社を株主に、2017 年 9 月より事業を開始しました。機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業と機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業を展開しています。

MLS は今後とも、機械学習サービス・ソリューションの開発をより一層推進していきます。

■MLS 概要 (<https://machine-learning.co.jp/>)

社名： マシンラーニング・ソリューションズ株式会社

本社： 東京都千代田区大手町 1 - 6 - 1

役員： 代表取締役社長 森山 雅勝

設立： 2017 年 5 月

事業： 機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業

機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業

※ マシンラーニング・ソリューションズは、マシンラーニング・ソリューションズ株式会社の日本における登録商標または商標です

※ その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

報道関係者お問い合わせ先

Langsmith 株式会社 管理部 米村

Email : pr@langsmith.co.jp